

四国

2016. 1・2・3

No.3

第93巻

平成28年4月1日発行

We Serve

The International Association Of Lions Clubs

ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 地区誌



瀬戸大橋



小槌島と大槌島

ガバナー・スローガン

「感謝」「感動」「感激」の気持ち、心で We Serve



ガバナー・キーワード

「入魂」

献血・献眼・献腎・骨髓提供



ライオンズクラブ国際協会336-A地区

地区ガバナー 橋本 充好

高知キャビネットも第3コーナーを回りました。私とともに汗をかいていただいているキャビネットの役員、地区委員、各クラブの会長、幹事そして会員の皆様に敬意と感謝を申し上げます。

今期は34年ぶりに国際会長が日本から輩出された記念すべき年であり、その時にガバナーを拝命されたことには格別の思いもあり、緊張感と充実感を味わいながら楽しんでキャビネットを運営させていただいております。

ただ、まだまだ目標には到達しておりません。私が特に力を入れているのは、新会員、家族会員、女性会員を合わせた、1000人の増強ですし、LCIFの一人50ドル献金です。

ご存知のように国際会長のテーマは「命の尊厳と和」です。この意味するところは「人間の命は皆平等である」という哲学のもとに国際協調の中で人類の平和を探索する」ということであり、奉仕の輪を大きく、深く、恵まれない人たちに手を差し伸べ、幸福を分かち合わなければならぬものだという哲学を持っている国際会長から発信されたものです。

人口減少という閉塞感のある中、ライオンズクラブにおいても会員数を減らしているのが現状です。国際協会でもシニアクラブ、支部制度、女性会員の増強や家族会員の入会等で会員の減少を食い止める施策をとっていますが、今後



INDEX

- 表紙2 地区ガバナー所感
2 YCE 冬期キャンプ
6 日韓交流ショートステイ
10 国際平和ポスター・コンテスト
13 環境保全写真コンテスト
14 Anniversary
16 第54回東洋・東南アジア
ライオンズ(OSEAL)フォーラム
17 会員増強
18 「あなたの愛を」パレード
20 LCIFセミナー
22 拝見します!クラブ会報
27 薬物乱用防止教育認定講師養成講座
大正生まれ ますます盛ん
28 地区会員状況
表紙3 物故会員・突撃インタビュー
表紙4 第62回 地区年次大会記念トークライブご案内



の展望は、非常にむつかしい状況です。しかし、だからと言って、ライオンズクラブが奉仕の輪を縮めるわけにはいきません。奉仕を求めている方は、世界に日本に沢山います。奉仕ができる自分の環境に感謝し、人と人との奉仕の輪の中で感激を味わい感涙の涙が流れたらどれだけ幸せな人生でしょう。ライオンズの会員は事業を成功に導いた人たちの集まりです。クラブ会長は、運営に当たっては楽しい例会に心がけていただきたいし、会員は月にたった2回の例会と肝に銘じて出席していただき予定を組めばほとんどの人が参加できるはずです。活気がなくなればクラブの衰退が早くなります。会員は厳しい状況の中でも何度でも立ち上がり獅子となります。いなるライオンになることに期待いたします。

2015.12.23～12.25

YCE 冬期 キャンプ



2015～2016年度
冬季キャンプに参加して

336-A・YCE国際関係委員長

白玉 圭志

冬季キャンプは、336-A、B、C、D地区合同で、マレーシア来日生9名・地元高校生3名・岡山後楽レオクラブ・マレーシア留学生通訳メイさん・スキーインストラクター2名・336-B地区・地区ガバナー尾崎博様を始め各地区役員皆さん総勢35名参加（B地区主催）岡山県新見市千屋・いぶきの里スキー場で、12月23日（水）～12月25日（金）2泊3日で開催されました。

336-A地区から、マレーシアからの来日生、コック・シアーン・ニーンさん（2R西條ライオンズクラブ受入）マー・ユーン・ジョーア君とホストファミリーの松山南ライオンズクラブ・谷口裕子様息子様の谷口淋空君、1RYCE国際関係委員・松山北ライオンズクラブ村上道照様・松山北ライオンズクラブYCE委員長・田中由香様・次期YCE国際関係委員長・大西竹雄様・私（白玉）で参加しました。

12月23日（水） 1日目



11時30分 JR岡山駅集合して岡山シティホテル移動し岡山後楽レオクラ

ブ8名・岡山東国際レオクラブ10名・新倉敷ライオンズクラブ3名・の参加され楽しく会食して、仲良くなったところで開村式が始まりました。

336-B地区・地区ガバナー尾崎博様歓迎の御挨拶あと、来日生とレオクラブ生に記念品贈呈などがありました。

その後で、レオクラブの皆さんの自己紹介・入会のきっかけや、クラブでの活動状況などの発表など今後計画ならびに希望とライオンズクラブへの要望などの発表がありました。

皆さんしっかりライオンズを理解されウイサープの精神を養われていました。

とても、将来が楽しみな皆さんで、きつとライオンズクラブの将来を担ってくださるにちがいないと確信し誇らしく思いました。

開村式が終了して、バスに乗り、いぶきの里スキー場に出発、乗車中に、車内英語レッスンなど楽しく移動し、あら？二時間かけてスキー場近くを登り始めても、雪がちらつかず？例年だとマレーシアの来日生の歓声が聞こえるはずなのですが？そうなんです！まさかまさかの暖冬で、スキー場のふもとを登り始めても、白いもの（雪）のすがたはなく、頂上の目的地に着いてもゲレンデには、雪ひとつない、冬の枯れた芝山状態に全員がっかり、気温もなんと7度！スキーに来たのですが？？？



気取り直して、本日から3日間お世話になる、いぶきの里に入り、日程や部屋割りなどの説明があり、夕方、毎年恒例で、このキャンプも一つの楽しみ、地元、鳥取県立日野高校生の皆さんの荒神神楽を見学「八岐大蛇」私も拝見するのは3回目ですが、何回見ても素晴らしい感動します。来日生の皆さんも真剣に見入って、写真撮影もすごかったです。

同じ年の高校生の神楽にやはり感動していました。

その後、待ちに待った夕食です。神楽を舞ってくれた高校生と一緒に楽しく食事ができ、日頃の練習の苦労話や来日生の生活習慣の違いなどを話が弾んでいました。その後、自己紹介や感想をのべ記念撮影をして解散しました。

温泉に入り今日一日の疲れを取り気持ちよくなったところで、全体ミーティングあり気になるのは、全員思いは一つ！明日のスキーは出来るのか？

さすがは、主催の336-B地区の赤野勝俊委員長「ここから1時間くらいバスで行くと広島県の県境に猫山スキー場があり、雪が少し残っていて、人口雪もあるので滑れるみたい」との話があり、全員やったー！と歓声があがりました。

関係者の皆さんも胸をなでおろし安堵し眠りにつけました。赤野委員長ありがとうございました。

12月24日 木 2000



7時30分に起床。朝食を頂き、期待を膨らませバスに乗り、いざ猫山スキー場に向かいましたが、とても穏やかな皮肉にも暖かい太陽が皆さんと輝く道なみを登っていくバス！やはり30分登っても雪の姿がなく、バスの中の雰囲気全員、今日の天気とは全く反対の曇り空？追い打ちをかけるように途中の電光掲示板には、気温8度表示？？？「おお！神よ！私たちを導きたまえ」心の中で叫んだのは、私だけだったでしょうか？

ところが、日頃の行ないが、良いメンバーが多いのか、頂上を超えると猫山が見え、雪があるではないですか！誰かが「雪や！」と、叫んだ瞬間バスの中が一転、今日の天気のように雲一つない晴天の気持ちになり、こども、大人も全員が「やった！」バスの中はわれんばかりの歓声につつまれ関係者は安堵し手を握り合いました。

到着しスキーウェアなどを借り、いざゲレンデに行くとやはり一部しか雪がなくシャーベット状に溶けていくような気温と太陽でしたが、初心者用のコースで2名のインストラクターさんと岡山の高校生3名、ライオンズメンバー数名のレッスンのもと滑れない……？。

雪をはじめてみる、来日生は大喜び！スキー体験をはじめたのがほとんど



で立つのもやっとで、前に歩くつもりが？後ろに下がりこける！「滑る事などほどとういかな〜」と思っていたら」2、3時間格闘しているとインストラクターさん達の教え方がいいのか、滑れるようになり、午後からはリフトで登り上から、転びながら滑れる子も、何人もいました。

私は滑れないので、カメラマンでしたが、インストラクターの高校生と来日生の皆さんが一生懸命、教えたり、教わったりする姿と、お互いが最後まで、諦めない姿に、「言葉が通じなくとも、心は通じるのだな〜と！」幸せな気持ちを頂きました。

帰りのバスの中では、全員爆睡でした。
夜！そうそう！今日はクリスマススイブ、夕食の後、いぶきの里オーナー所属の



ライオンズ皆様から特大ホール5個分はあるクリスマスケーキをプレゼントして頂き、余興でスキークのインストラクターをして頂いた方がギターで何曲か、弾き語りをして頂いて盛り上げていただく来日生皆さんがマレーシアの国家やクリスマスソングなどを歌ってくれと、ギターを借りて弾き語りを披露してくれる来日生も現れ、ビンゴゲームなどをし、プレゼントの景品をもらってとても楽しいクリスマススイブの夜でした。





12月25日(金) 3日目

キャンプ最後の日の朝がやってきました。

朝食後、今日のスタートは日本文化の書道体験336-B地区の3RYCE国際関係委員、豊福康子様にご用意をして頂き又、ご指導のもと色々な字を書いています。

マレーシアはチャイニーズ系なので、日頃から書くこともあるようで、皆さんなかなかの腕前でして、中には本格的な書ける子もいて、ホームステイ先の日本のお父さん、お母さんの名前などを書いて



てプレゼントにする子もいました。

終了後、いぶきの里の近くに歩いていける釣堀があり、マス釣り体験しました。つり堀り釣りは初めてらしく、釣れると歓声が上がっていました。釣った魚をから揚げと塩焼きにその場でいただけとても美味しく、みんな大喜びでした。

昼食後、キャンプレポートを書いて、14時、閉村式が始まり336-B地区赤野国際関係委員長の挨拶があり、来日生、キャンプに参加した高校生も一人ずつキャンプの感想を発表していました。

皆さん、スキー体験、荒神神楽、クリスマスイベント、書道、釣堀体験などの思い出を話、関係者の皆様にも心からお礼を言っていました。

バスに乗り、楽しかった2泊3日のYCE冬季キャンプも終わりに近づき岡山駅の解散場所について皆さんにお礼を言って解散したのですが、来日性と高校生が時間の許す限り別れ惜しんでいるのが印象的でした。

336-A地区、松山南ライオンズクラブ所属で今回ホストファミリーでもある、谷口裕子様がお話をしてくれました。何回か、過去も受け入れをされた時は、この冬季キャンプにも参加されていて、336-A以外の地区のマレーシアの来日生にお会いされて仲良く成れて、今回参加の息子さん琳(リン)空君が今マレー

シアの学校に在籍しているのですが、その時の御縁でマレーシア留学生のご両親が身元引受人になっていただき留学できたそうです。

マレーシアの学校の短い休みの時は、このマレーシアの方の家にホームステイさせていただいているそうです。

谷口裕子様は本当に出会いに感謝され、出来るだけ受け入れをなさっておられます。

もし、ライオンズクラブ3本柱の一つに掲げられている、青少年育成YCE国際交流事業がなければ、あり得なかった出来事です。

本当にこれこそがウィサーブ精神だと感銘をいたしました。

今回の2015〜2016年度冬期YCEキャンプが、少し雪が残念でしたが、病気や怪我もなく無事に終わりました事にほっとしております。

最後になりましたが、このように素晴らしいキャンプを開催していただき、こども達に夢、感動、希望と出会い思いでの出来る素晴らしい場所に一緒に参加させていただいた事に感謝申し上げます。336-B地区、尾崎博地区ガバナーはじめ、内山滋地区キャビネット幹事、336-B地区、赤野勝俊YCE国際関係委員長、各地区委員長、委員、各関係者皆様の大変なご尽力頂いたことに、心から敬意と感謝申し上げます。お疲れ様でした。ありがとうございました。

日韓交流ショートステイ

2015年 12月22日～12月28日

ホストファミリー宅にてホームステイ
景福宮、北村観光
354-D地区ガバナー 歓迎会
クリスマスパーティー
二村国立博物館、東大門観光 等



336-A地区青少年・LCIF・地域奉仕委員長

東 信 喜

2015年12月22日から28日まで、日韓交流ショートステイが韓国のソウルで行われました。これは336-A地区と姉妹地区である韓国のソウル354-D地区との間で、毎年恒例化しつつあるものです。同年8月、韓国から大学生10名を受け入れたのに対し、今回派遣青年を募集しましたところ3クラブから応募があり、大学生含む9名の青年の参加を決定して、派遣しました。

派遣青年たちは、韓国で354-D地区ガバナーをはじめ多くの方々の熱烈的な歓迎を受け、また、受け入れファミリーの暖かいお世話と、8月来高の大学生たちが派遣青年たちに終始付き添って、各所案内などのお世話をして頂きました。派遣青年たちはこれに大変感激されたとのことでした。そして、派遣青年たち一行は28日無事帰国しました。

派遣青年たちにとって今回のホームステイは、生涯の思い出にもなり、さらに国際的視野を広げる絶好の機会でもあったのではないだろうかと思われます。

最後になりましたが、今回の青年派遣の応募にご尽力下さいました土佐山田、高知柏及び高知りょうまの各クラブの皆様方に、この紙面をかりて厚くお礼申し上げます。

このような機会を与えてくださったライオンスクラブ関係者の皆様、本当にありがとうございました。

細木 優夏

私はこの韓国研修を通して多くのことを学びました。まず、韓国の生活習慣です。韓国での生活の中で一番驚いたのがトイレでした。日本ではトイレの水圧が強く、トイレトペーパーを便器の中に流します。しかし、韓国では便器の横にゴミ箱が置いてあり、そこに使用したトイレトペーパーを入れるという、日本では考えられない衛生的にも汚い現状がありました。私は、タイやベトナム、ラオス、カンボジア、アメリカと訪問したことがありますが、これまでにないトイレでした。国が違えば文化や習慣など変わるの当然ではあるけれど、人が生活する上での衛生環境などは整えていく必要があるのではないかと思います。しかし、この状態が衛生環境が整っていないと考えるのも日本人だからだということにも気づきました。日本ではトイレトペーパーを流すのは当たり前のことになっている私たちにとっては、それが衛生環境が良いと考えます。しかし韓国では韓国の習慣が当たり前なのだから、衛生環境が悪いとは思わないかもしれないと、多面的な視点から考えることができました。

そして韓国では同年代の人が私たちを案内し、お世話してくれました。私はそれに驚きました。私がこれまで経験してきた中には、子どもが企画しても大人が必ず介入してきます。ホームステッドとなれば観光でさえ大人がついてきます。しかし今回の研修では大人は入ってこず、すべて子どもがお世話をしてくれました。私にとってこの韓国研修は、多くのことを学び、感じ、感動、笑顔、多くのことを与えてくれました。

本当にこの企画にかかわってくださり、最後までサポート・支援してくださった方々にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。またこのような機会がありましたら参加させていただきたいと思っております。

茶木 芳澄

私は今回ライオンズクラブの韓国ショートステイへの参加は2度目でした。前回は初めての海外でワクワクしましたが、今回はホームステイ先が知っている大学生の家という事もあり、さらに楽しみました。

今回の向こうで一週間は前回とは違って、韓国の学生の人たちが終日私たちのお世話をしてくれ、より一層大学生の人たちと接する事が出来ました。韓国とはいっても、現地での言葉はほとんどが英語でした。日が経つにつれ、会話がスムーズにできるようになるのを感じました。

以前のショートステイでも感じたことですが、日本と韓国の生活の違いが沢山ありました。まずは、トイレの清潔さです。外に出るとトイレトーパーが流せなかったり、トイレトーパーの補充がされていなかったりと、日本では絶対ありえないことが向こうでは普通でした。今回の旅で気づいたのは、ゴミ箱がとても少ないということです。捨てたくてもなかなかゴミ箱がなくて困りましたし、そのためか、街にはゴミが散乱していました。その他にも店での接客や運転が危険なこと等、さまざまな日本との違いがあり、少し不快な時もありましたが、日本という国（高知）がどれほど良い所かと改め

て実感する良い機会になりました。

しかし、国は違えど、沢山の話で盛り上がったたり、写真を撮ったり、こちらに帰って来て向こうの学生と連絡したり、とても良い関係を築けたことが、何よりも一番の思い出です。今回の旅を通して海外に行きたいという気持ちが更に強くなりました。

貴重な体験をさせて下さったライオンズクラブの皆様、韓国の学生さん、ショートステイ先のご家族、皆様に感謝の気持ちを持ち、これからの生活に今回の学びを活かしたいと思っています。本当にありがとうございました。



井上 明里

12月22日から12月28日まで韓国へ行ってきました。韓国の空港に着き、ホストファミリーと合流した際質問することを考えておらず、沈黙が続く、ちゃんと考えて行かないといけないと実感しました。

歓迎会をして下さった時には、手酌をして飲む際、相手から体を反らして飲んでいたり、日本とはまた違った文化、風習を知る事が出来ました。

韓国の方は英語を話せる人が多くいるのに対し、日本人は日本語しか話さない（英語が不得意）ように感じました。ホストファミリーとの出会いはとてもいいものであり、有意義な時間を過ごす事が出来ました。



池田 彩

今回交換留学を経験し、あらゆる視点から様々なことを学ぶことが出来ました。文化の違いがあり、その上で日本人がどのような人種で、普段の何気ない生活がどれだけ心地いいか知ることができました。またホームステイがどんなものか気になっていたので経験することができてよかったです。そして、言葉の壁の難しさを経験し、世界でいかに英語が重要か実感しました。これからは、日本以外の国で通用する人間になりたいと思いました。



野村 侑加

12月22日から28日にかけて冬季派遣日韓ショートステイに行った。私は前回の冬季派遣日韓ショートステイにも行った事がある。その時もふまえ、今回のショートステイでの感想を下記に述べていく。

まず初めに前回のショートステイが私の初めての韓国滞在にあたる。今回のショートステイは2度目の滞在だ。前回では日本での英語の勉強不足を痛切に感じた。加えて日本の英語に対する学習の意識の低さに対して疑問を感じた。今後の世界の中を考えると、英語という言語は必要不可欠である。「英語に対する意識を改めねば」というのが前回の感想であった。

今回についても上記で述べたように日本の英語の学習はあまり意味をなさないのでほとんどであると感じた。韓国にショートステイをするのだから本来なら少なからず韓国語を話せるべきであるが、私は韓国語をあまり喋る事が出来ない。そこで英語が必要になってくるのだが、私は英語も拙い。あいての言っていることを少なからずではあるが理解できるが発音力が乏しい。これは日本人に多く見られると、私は考える。理解は出来るが、発音が悪く上手く伝える事が出来ない。ここで必要になってくることは、勢いよく「ミユ

ニケーション、ジェスチャーである。

しかし、なぜ日本人は英語を不得手とする者が多く存在するのか。これは日本では単語の学習よりも文法を中心とした学習が多い事が原因であると考えられる。文法をいくら理解していてもいざ喋るとなると必要になってくるのは単語だ。英単語を知らなければ意思疎通をはかることは困難だ。あいてが言っている事を理解しきれない事を、こちらが伝えたい事を伝えられない事もどちらもとてもどかしい気持ちになる。

結論を述べると、日本人は英語に対する意識を改めるべきだ。近年ではジャパニーズカルチャーとして注目される機会が増え観光客も増えた。今後の事を考えても英語をより多く学ぶ機会を増やしていく事が英語力の向上につながるかと私は考える。



澤崎 富美

今回のショートステイを通じて韓国の文化を深く知る事が出来た。

韓国ウォンの基礎を作った人物や韓国史に深く関わる建造物を見学し、多数の門や城等、絢爛豪華な装飾の数々が目に入った。そのひとつに湖に浮かぶ殿は、他の建物とは一風変わって男性的な建造物ばかりの場所に女性的なものを感じた。

食事はやはり香辛料が多くとても辛い。刺激が強く、味は薄く感じる物が多かった。日本の様にダシという文化がないのか私にとっては物足りない事

もあつたし、食器の多くが金属製で占めていることや、作法の違いに驚いた。目上の人から貰った酒は、飲む姿を見せないよう隠す文化を初めて知った。

もう一つ驚いたのは相手とのパーソナルスペースの違いだ。初対面の相手とはある程度距離をとって話す日本とは違い、ハグや手を繋いだりスキンシップを積極的にする姿は同じアジア圏でも違った印象を受けた。

様々な場面で互いの国の違いを感じつつも、ステイ先のパク家には良くして頂き楽しく貴重な体験が出来た。実は直ぐにでも韓国旅行に出かけたい(笑)最後に、ホストである高知柏しCの皆様へ感謝します。このショートステイを今後に生かします。ありがとうございました。



前田 ひばり

私は今回韓国ショートステイに参加して、韓国と日本の違いや共通点を見つける事が出来ました。

まず違いは、トイレとペーパーを流したらいけないということです。日本では、当たり前のように流しているのですが不思議に感じました。トイレとペーパーの技術の違いなのか、下水道の違いがあると思いました。

もう一つは、トイレとお風呂の仕切りがなかったことです。この2つの違いを感じて、日本の方が便利だと思いました。このような文化の違いはありましたが、共通部分もありました。

それは、国は違っても同世代の学生と好きな事や物が一緒であったことです。言葉の壁があっても笑いあえたり、分かりあうことが出来ました。

私は、韓国に行くまで、ニュースなどで日韓問題を耳にする事が不安でした。しかし、実際に行ってみると、日韓問題を感じる時はなかったです。例えば、道端で、「日本好きです」と声をかけてもらいました。とても嬉しかったです。

ライオンズクラブの方にこのような貴重な体験をさせて頂き感謝しています。このショートステイで感じた事、出会った人の事を忘れずこれからの人生に活かせるよう頑張ります。ありがとうございました。

池田 まりあ

始めはとにかく不安ばかりでした。国外に出るのも10数年ぶりホームステイも初めてで、何より色々なニュースで日韓関係が良好なものではなく韓国に行っても歓迎されないかと思っていました。

しかし韓国に到着し空港で韓国支部の皆さんに温かく迎えられ、その不安と緊張も和らぎました。

観光では様々な所に連れて行ってもらいました。多くの人で賑わう繁華街と歴史的な建造物が隣接していて、そんなところにも少し日本との違いを感じました。

ホストファミリーの皆さんもとても親切にしてくださいました。ホストマザーの手料理は韓国滞在中に食べた中で一番美味しかったです。ホストファミリーも韓国のことをたくさん話してくれました。

3日目の韓国支部会員さんとの会食の際の一人の会員さんと話をしました。その方は、日本と韓国は政治上様々の問題

があるが、それだけで偏見や嫌悪を持ってはいけません。私たちが皆、



心で繋がっている家族だ。と話してくださいました。とても感動しました。確かに私はこの日韓交流会に参加するまで、少なからず韓国に偏見を持っていた。しかしこの一週間でそれはなくなり

ました。韓国の観光ツアーの学生の皆さん同世代とは思えないくらい気遣いのできる優しい方ばかりでした。

このショートステイは私にとっても貴重な体験になりました。カルチャーショックもたくさんありましたが、また韓国に行きたいと思いました。メディアの悪い情報だけを取り入れるのではなく、実際に現地の人と交流することが大切だと実感しました。今回のショートステイでお世話になった皆様には心から感謝しています。

岡村 美玖

ライオンズクラブの韓国へのショートステイは2回目でした。三年前と今回とで、私が感じたことは、暖冬だったと言うことと、中国からの大気汚染がダイレクトで伝わってきたということ、日本と韓国の英語の学力の差、文化の差のことです。

韓国に行った時、三年前と比べると暖かく過ごしやすいかったです。しかし、晴れているのに空気が霞んでおり、中国からの大気汚染が目立ちました。高知ではあまりわからないので、ニュー

スで知る程度でしたが、韓国はとても中国に近く、こんなにも大気汚染が流れてくるのかと驚きました。

韓国の学生はほとんど英語が話せました。日本の学生も話せてはいましたが、やはり発音が良くなって伝わるのに時間がかかりました。聞き取れる能力はあるのに、発音が上手くできないので会話に支障があった気がします。日本の学生も能力があるのに、そのような面で少し損をしていると思いました。

韓国の学生はアルバイトをほとんどしないと言っていました。なぜ、日本の学生はアルバイトをするのかと聞かれました。私が思うに、日本の学生はお金を稼ぐのと同時にアルバイトを通して社会勉強をしているのではないかと。私がお世話になったホームステイ先のお兄さんは、日本人は常に笑っていて我慢強いねと感心していました。それが日本の学生がアルバイトで培った力ではないか、と思いました。どんな状況でも笑うこと、自分は悪くなくても謝る姿勢、感謝の気持ちを伝えること。日本人が礼儀正しいと言われる理由はそこにあるのではないかと思います。

韓国は学歴が重視され、日本ではマナーが重視されます。どちらもとても大切なことだと思います。これから二つの国が互いのいい所を理解し、教育に入れていければより良くなると思います。

2015
2016
年度

国際平和ポスター・コンテスト

「平和を分かち合おう」をテーマに、2015-16年度国際平和ポスター・コンテストが開催されました。年ごとに平和に関するテーマを設定し、平和について考え、また芸術に親しむ機会を子どもたちに提供するこのコンテスト。開始以来これまでに約100カ国から何百万人もの子どもたちが参加しています。



336 複合地区
336-A 地区
最優秀賞

小山 里杏 (中学2年)

平和を創り、守っていくのは私たちです。世界中の人たちと心から祈り願い協力し合うことの大切さを絵画に込めました。

スポンサークラブ
西条石鎚ライオンズクラブ



見事複合地区にて最優秀賞に選ばれました。



テーマ 「平和を分かち合おう」

参加クラブ 100クラブ
総出品点数 4,935枚
クラブ提出数 218枚

審査委員長賞



大川 夢愛空
北島ライオンズクラブ

高知県教育長賞



竹中 瑞希
松山白鷺ライオンズクラブ

地区ガバナー賞



大崎 涼夏
高知鷹城ライオンズクラブ

地区青少年・LCIF・地区奉仕委員長賞



小野坂 咲希
高松西ライオンズクラブ

地区ライオンズクエスト運営委員長賞



兵等 千恵
高知北ライオンズクラブ

地区誌編集委員長賞



愛原 花梨
松山東ライオンズクラブ

優秀賞



白杵 初
善通寺ライオンズクラブ



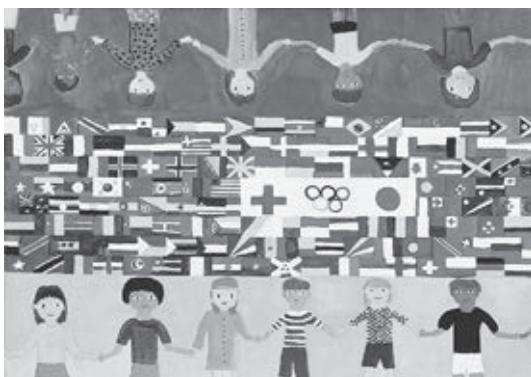
渡部 幹人
丸亀ライオンズクラブ



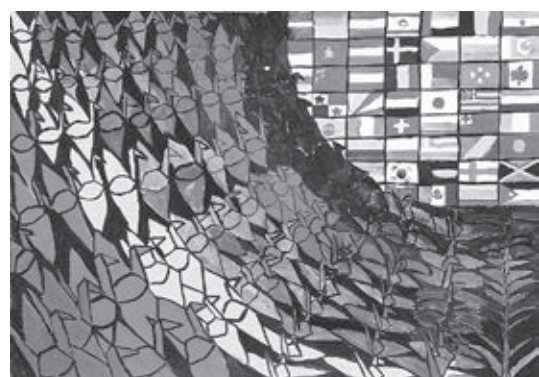
井上 天
徳島すだちライオンズクラブ



安岡 咲良
多度津ライオンズクラブ



上岡 美月
四万十ライオンズクラブ



亀井 優奈
高知桜ライオンズクラブ

優秀賞



尾川 大樹
阿南ライオンズクラブ



山崎 直樹
高知桂ライオンズクラブ



鎌倉 光
鴨島ライオンズクラブ



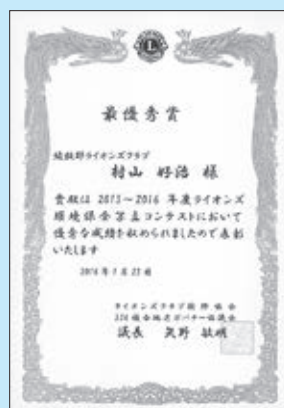
松浦 桃子
板野ライオンズクラブ

2015～2016年度 環境保全写真コンテスト

336複合地区 最優秀賞
336-A地区 優秀賞

村山 好治 (綾歌郡ライオンズクラブ)

【テーマ】 景観 (清流 綾川)



336-A地区内応募数
15点の内、村岡好治氏
の作品を336-A地区優
秀賞として、複合地区に
提出しました。
複合地区で見事最優秀
賞に選ばれました。

50th

宿毛ライオンズクラブ

結成五十周年記念式典を終えて

宿毛LC 会長 奥谷 陽一

十月二十五日、宿毛市の秋沢ホテルにて尾崎正直高知県知事、沖本年男宿毛市長、橋本充好地区ガバナーはじめ、御来賓・地区役員・ブラザークラブの皆様、二百名の参加により盛大に開催することが出来ました。

振り返りますと、一九六五年六月十日に土佐清水ライオンズクラブのスポンサーの下結成して以来、ブラザークラブ、地域の皆様に支えられて、地域社会に根差した奉仕活動が続けてきました。ここに五十年の区切りを迎えられた事を会員一同心よりお礼申し上げます。さて、式典において記念事業を数々発表しましたが、宿毛LC・宿毛レオクラブの老人慰問・地域の奉仕活動への参加などにおきましては、尾崎正直高知県知事より非常に素晴らしいとお褒めの言葉を頂きました。これからも、宿毛レオクラブの活動だけでなく、地域に根差した奉仕活動を新たな気持ちで勧めていきたいと考えます。

式典後の祝宴におきましても、御臨席いただいた皆様に、御満足いただけるよう祝宴の料理なども式典前に、クラブ員とその奥様に試食してもらい議論して決定させていただきました。そして、

きびなご料理・直七などの酢ミカン・地元焼酎・当クラブ会員の作っている羊羹パンなど、祝宴の席の料理とは、別に出させていただきました。料理も別に出させていただいた羊羹パンなども、非常によかったとの声を頂きました。私も非常に満足しております。

最後に、今後とも宿毛ライオンズクラブに益々のご支援を、賜りますようよろしくお願い申し上げます。とともに、記念式典、祝宴の準備にご協力いただきました会員とご家族、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



50th

志度ライオンズクラブ

認証50周年記念式典

志度LC 会長 石原 新造

美しい自然、地域の歴史と伝統を生かし、香り高い文化あふれるさぬき市にも一段と秋の深まりが感じられ、四国霊場結願の寺をめざす、お遍路さんの姿と、鈴の音が聞こえる、11月8日(日)に高松国際ホテルに於いて、我が志度ライオンズクラブ認証50周年記念式典が、参議院議員三宅伸吾様(11月志度LC入会済み)・香川県知事浜田恵造様、さぬき市長大山茂樹様をはじめ、ライオンズクラブ関係では、3361-A地区第一副地区ガバナー真鍋隆様、FWTエリアリーダー松前龍宗様、元地区ガバナー地区名誉顧問石川俊夫様、地区委員の皆様ほか遠く秋田県より友好提携クラブ角館ライオンズクラブ、スポンサークラブ高松玉藻ライオンズクラブ、ブラザークラブ等、多くの方々のご出席のもと盛大に開催されました。

志度ライオンズクラブは、1965年4月16日に高松玉藻ライオンズクラブのスポンサーにより35名をもって結成され、日本では912番目、香川県では13番目のクラブとして誕生いたしました。それ以来多くの先人、先輩の確固たる信念を忘れることなくライオンズクラブの誓いのもと、地域社会に根差した



奉仕団体に徹し、次代を担う青少年に夢と希望を与える事業、従来から我がクラブ独自の自慢出来る事業、地域住民に対して十分情報が提供できる事業、そして各種団体との交流事業を実施して、地域の皆様方からもその活動の成果を高く評価されるに至っております。

そして、今回の認証50周年記念事業としましては、地域の角々まで日々、安全で安心して生活が送れることを願い「青色回転灯パトロール車」1台とさぬき市北端志度湾の東側に突き出た大串自然公園に、さぬき市学校再編計画で廃校になった生徒の机、椅子等を再利用して展望台にパラソルと組み合わせたベンチを製作設置して、来客者に大いに使っていただくための2事業を、さぬき市に贈呈しました。

今後は、我がクラブの現状を直視しつつ、先輩の築かれた歴史と伝統にはじることなく、50周年を共に喜びあい、更なる精進を会員が共に力を合わせて次へ語れるよう、一層の努力を致したいと考えております。



河内 紘一
大会委員長

開会の冒頭、大会委員長である河内紘一より、歓迎のご挨拶として、創立50周年を迎えることができた喜びと、これまで支えて頂いた地区の各クラブへの感謝の気持ちを表明した。さらに、これまで、先人から受け継いだ歴史的な町並み、伝統と文化に支えられた村並、豊かな自然に育まれた山並という自然や文化を大切に街づくり、次世代を担う子供達を育てる活動、高齢者や体の不自由な方などの社会的弱者の方に向けた活動などを実施してきたと報

沢山の御来賓の御参加を賜り、中村時広県知事、岡田志明朗県議会議員、稲本隆壽町長、池田洋助町議会議長、坂口強商工会会長、山田実紘国際会長、橋本好充地区ガバナー、下田義一3RのRC、上田栄一大洲LC会長（スポンサークラブ会長）、呉燕明楊梅獅子會、黄慶光楊梅獅子會初代会長を始め沢山の御来賓の御臨席を賜り、沢山の方々から温かいご祝辞を頂いた。

3リジョンの各クラブの大勢の会員の



木下 勝彰
内子ライオンズクラブ
会長

平成27年11月22日の秋晴れの下、内子町内子座において、内子ライオンズクラブ創立50周年記念式典が、多くの御来賓、台湾の姉妹クラブ、地区の姉妹クラブの会員の参列を頂き、開催され、盛会裏に終えることができた。

告し、また、昭和56年以来台湾楊梅獅子會と交流を続けて頂いた感謝の気持ちを表明した。

続いて、会長の木下勝彰から、我が内子ライオンズクラブも、価値観の多様化に対応すべく、持続性を持ちながらも、故きを温ねて新しきを創る元年として未来へ歩んで行きたいと力強くご挨拶申し上げた。

50th

336-A地区の姉妹クラブに支えられて50年 台湾楊梅獅子會と姉妹提携の交流を続けて34年 内子ライオンズクラブ 創立50周年記念式典開催さる

内子LC 50周年記念誌委員長
森本 侃



内子LC&
楊梅獅子會共同アクト
内子座の常夜灯

皆様の参加もいただき、当クラブの会員、家族会員並びに家族も加えて、総勢120名の式典となった。

会は進んで、当クラブとともに、奉仕活動に力を注いだ各団体、スポンサーの大洲ライオンズクラブ、姉妹提携の楊梅獅子會ならびに同獅子會会員に感謝状・表彰状が贈られた。当クラブの会員として、チャーターメンバー2名を含む長期在籍会員4名の表彰を行った。



式典の様様



重次郎とその母セツ

記念誌は、内子LCの50年の奉仕の歩みや記念事業ならびに楊梅獅子會との共同アクトを中心に編集された。さらに、内子の文化と伝統、自然や人々の暮らしについて紹介し、また、明治時代にアラスカで活躍した和田重次郎の話題についても触れた。当クラブの長期在籍者として表彰された和田利百は和田重次郎の日本における唯一の末裔であり、重次郎の母の墓も和田家により大切に守られている。

50年の歩みをたたえ、これからの内子ライオンズクラブの礎を永久に記録するために、過日国立国会図書館に記念誌を納本した。

50th

坂出白峰ライオンズクラブ
結成50周年記念大会を終えて

坂出白峰LC 結成50周年記念大会

委員長 河崎 和義

ふるさとの五色連峰が錦繡に染まる
候に、「坂出白峰ライオンズクラブ結
成50周年記念式典」を開催いたしまし
たところ、ご来賓の皆さまをはじめ、
336-A地区ガバナー、地区役員、地
区委員、スポンサークラブ、姉妹クラ
ブ、友好クラブ並びにブラザークラブの
皆様ほか多数のご参加をいただき、クラ
ブ結成50周年という節目の大会を無事
に終える事ができました。私どもにと
りましては、まことに感慨深く、この上
なく光栄な記念大会となりました。皆々
さまに対し、心から重ねて御礼申し上
げます。

記念大会委員長として東奔西走した
日々の出来事が、湧き起こる場面も多々
あります。中でも、ロンボク島の子供達
が夢にまで見た日本にインドネシア西
ロンボク県関係者ともども招聘出来
ました。また、第30回香川県中讃地区
ジュニアバレーボール大会において元全
日本代表江藤選手・佐野選手を招待出
来ました。これらは、子供達にとって一
生の大切な思い出となる事でしょう。

いずれにしましても、記念大会委員
長の役職は数か月に終わりましたが、
その間に与えられた体験はあまりに貴
重であったと言わざるを得ません。それ
らを大切なものとして扱い、先輩諸氏
からいただいた温かいご教示とご支援に
感謝を申し上げつつ、明日への更なる飛
躍をめざし精進をして参りたいと存じ
ます。

末筆ながら、皆々さまのご健勝とご
多幸を心よりご祈念申し上げ、感謝の
言葉といたします。



第54回東洋・東南アジア・ライオンズ (OSEAL) フォーラムに参加して



336-A地区キャビネット幹事

下飯野 芳幸

2015年12月3日～6日の間、
第54回東洋・東南アジア・ライオン
ズ(OSEAL)フォーラムがタイ
の首都バンコクで開催されました。

キャビネット幹事として、キャビ
ネットを引率し、336-A地区よ
り30名の参加を頂き一緒に12月4日
の開会式、336の夕べ、12月5日
の国際会長晩餐会の参加・お世話係
りと、目まぐるしい日程をこなして

まいりました。

フォーラムのテーマは「Excellence Through
service」。長きにわたり思いあふれる人道的奉仕を行っ
てきたOSEALのライオンズの「知性・愛・団結」を、
奉仕を通じて更に秀逸なものに昇華させていこうとい
う思いがこめられている。

バンコク・フォーラムの内容は、ライオンズクラブ
の創設100周年を強く意識したものでした。古く不
要となった遺産は払拭し、次の100年間で最高の選
択をするためには、この一年間がとても重要であると
繰り返されました。

フォーラム会期中の12月5日は、タイ国王ラーマ9
世の88歳の誕生日と重なる、沢山の観光客が溢れか
えって、遺跡見学も人混みの中をやつとの思いで、見
て回りました。

今回の東洋・東南アジアフォーラムは公私に渡り、
大変有意義なフォーラムだったと思います。

会員増強

会員増強は通年の課題

高知鷹城ライオンズクラブ

招請委員長 筒井 継男

私達のクラブは56年の歴史と伝統を持つクラブですが、時代背景も相まって優れた活動の成果が必ずしも会員増強に結びついていないという現状にあります。よって、会員増強はクラブ活動を左右する本質的な問題であり、アクティビティの向上の為に欠くことの出来ない最重要課題と心得、通年的な取り組みとして総力を傾注することを確認し、取り組んでいます。

私は昨年招請委員長を務めていましたが、招請委員会の機能を十分に果たせなかった反省があります。加えて、昨年は55周年を迎え、未来を担う青少年の夢事業等々の優れたアクティビティは、参加する子ども達、関係者、主体となる私達にも感動溢れるものでした。これはまさに橋本ガバナーのスローガンである「感謝」、「感動」、「感激」そのものでした。しかし、これらの活動は新入会員招請の好機でしたが、その好機に結実できなかった反省があります。以上の事から次の取り組みにつき、招請委員会で確認しました。



上記基本事項、目標を掲げての取り組みは、未だ道半ばではありますが、2月時点で新会員5名、入会見込み2名の状況を会員の努力の結果として示して頂きましたが、目標はあくまでも貫徹です。

- ① 会員増強は最重要課題として通年的に取り組む。
- ② 理事会、例会で必ず議題とし、すべての会員の招請、拡大意識の高揚を図る。
- ③ 各委員会が常に拡大対象者を意識し、招請委員会、理事会、例会に集約する。
- ④ 今期の拡大目標を10名として全力を傾注する。

会員増強について

キャビネット副幹事

地区誌編集委員 福島 明

昨年の11月20日、おかやま未来ホールで開催されました山田實紘国際会長公式訪問（336複合地区クラブ会長セミナー）において、山田会長は、「ライオンズクラブは世界で最大の奉仕団体として、ノーベル平和賞にもノミネートされるようになった。この機会に日本も会員増強（正会員4万人・家族会員4万人）を図り、世界に冠たる日本のライオンズの意気込みを示そう。」と熱弁されました。

さらに、「家族会員も正会員として例会への出席を義務づけ、年に何回かの奉仕活動に参加することが望ましい。そして女性の活躍を期待するとともに、ファミリーメンバー（後継者）を確立しよう。」とスピーチされました。

私自身も日頃から会員増強については、何か新しい切り口がないものかと思っていた一人ですので、大変感銘を受けました。来年度はライオンズクラブが誕生して節目の100年を迎えますが、伝統を守りつつ、新しいことにチャレ



12月新会員数第1位となり、ライオン誌日本語版2016年3月号に橋本地区ガバナーのコメントが掲載されました。

ンジし、変えていく必要性を感じます。各クラブでそれぞれ事情が異なることは承知していますが、山田会長の方針に沿って、それぞれのクラブでやることから実践し、変えればよいと思うことは勇気を持って変えていく。今こそ原点に戻って考えるべきだと思います。

「あなたの愛を」パレード

2015.12.20



四献運動

献眼・献血・献腎・骨髓
提供の啓蒙啓発活動

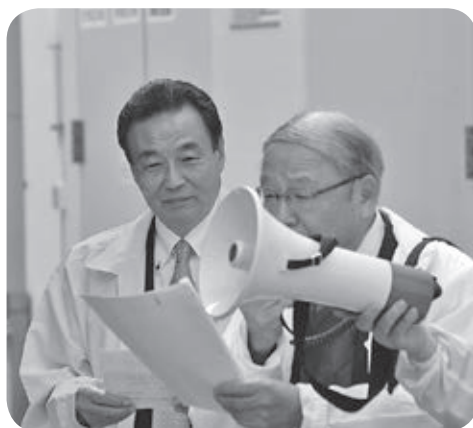
6R-RC 品原 啓二

今回で17回目となる高知県ライオンズクラブ主催の「あなたの愛を」と題したパレードを平成27年12月20日に開催いたしました。今回は、例年より規模を拡大し、土佐女子中高生のマーチングバンドを先頭に帯屋町アーケードを県下のライオンズクラブ員が啓蒙の為の資料、お菓子などをプレゼントしながらパレードする事に加え、中央公園でもマーチングバンドにパフォーマンスを実施していただき、日赤には献血活動、また骨髓ドナー登録会（高知黒潮LC）も同時に開催しました。献血や骨髓提供にご協力いただいた方々にはティッシュペーパー6個入りや植木鉢のプレゼント等、テレビ局2社、ラジオ1社、新聞1社に取り上げられるなど例年以上に盛り上がった、「あなたの愛を」のパレードとなりました。

高知県の献血の現状は、昨年度12か月の内、7か月は他県からの協力を頂いて賄っています。この状況を解消するためには、より一層のPRと啓蒙啓発活動を通じ四献運動の重要性を広く市民に呼び掛け、高知県の血液は高知県で賄

える状況に改善されることを願っています。

最後になりましたが、ご協力頂きました、土佐女子中・高校生のマーチングバンドの皆様、そしてご参加、ご協力いただきましたライオンズの皆様、長時間に亘ってお疲れ様でした。





7R・RC 川添 清

今年度の四献運動は今までになかった構想で取り組まれた。今まではパレードを行い、パンフレットを配るのみだったが、今年は高知県の後援事業として承認を得て行うことができた。献血車に来てもらい、献血と骨髄ドナー登録会を併行し、学生のパフォーマンスを鑑賞する事によって、学生の父兄を中心として、多くの市民の注目を集め、我々も楽しもうと考えた。6月から計画をしたが、イベント会場として選んだ中央公園の土日での空き時間がなかったこと、お願いした高校の期末試験等でやむを得ず、師走の押し詰まってきた行事となった。寒い時節にも関わらず、学生たちは、早朝より楽器の搬入やリハーサルに奮闘してくれた。全国大会に参加する学生たちのパフォーマンスには、感動させられた。参加した父兄からも子供たちの演技、演奏を鑑賞出来たことや、献血・献眼・献腎・骨髄提供の重要性、意義を感じたとの意見を聞き、それなりの成果を挙げたと思われる。



「あなたの愛を」

と呼び掛けるパレードが行われた。例年と違い12月の中旬でもあり街中には多くの市民が出ていた。内容は献血・献眼・献腎・骨髄提供推進キャンペーンであり、取材を通じて運動の広がりを実感した。

当日は、高知大神宮前より帯屋町・新京橋・大丸前商店街を経て中央公園までつづくパレードであった。また、今年は中央公園では大きな市民の輪の中で女子中高生によるパフォーマンスも繰り上げられた。

提供者の受け付け席には多くの市民が登録しており、献血や臓器提供の意義は確実に伝わっている様だった。臓器提供には、多くの条件があり、その第一は、年齢制限と言われている。献眼以外は法定年齢があるからで、今回の様な具体的な実施や若い人への呼びかけは重要なのだと言える。

1999年に街頭キャンペーンとして当該パレードが企画され、高知県内の33クラブにおいて行ってきた普及啓発活動への取り組みに敬意を表したいものである。

そして、今回まで続く運動の中で、今年からはじめたと言われる中央公園でのPR方法への工夫はより意義深いものがあるといえそうだ。次年度も続く事を願って取材を終えた。



ふと、演奏を終えた少女達の顔を見ると実にさわやかだった。練習時間を聞いてみると、「休日は朝九時から夕方四時半まで、平日でも六時半までです」と元気に答えてくれた。

「ありがとう。素晴らしいかったよ」と拍手し「ブラボー」と声をかけた。

地区誌編集委員 竹村 俊彦

LCIFについて

336-A地区青少年・LCIF・地域奉仕委員長
東 信喜



「万物は流転する。」とは、古代ギリシャの哲人ヘラクレイトスのことばと言われています。
世は常に変化することを言われたものと思います。

私たちが所属するライオンズクラブをメンバーとするライオンズクラブ国際協会も、社交クラブから奉仕団体へとその誕生から来年で100年になります。単独奉仕から合同奉仕へ、地域奉仕から世界奉仕へと、人の意識も組織もその活動内容も常に変化するのとは必定で、この変化の中から時代の要請に応えるべくLCIF（ライオンズクラブ国際財団）がライオンズクラブ国際協会を母体として誕生し、2年後には50周年を迎えます。

LCIFは、「財団の使命は、人道主義的奉仕、災害援助、職業技術訓練を通して、地域社会及び世界社会奉仕に努める全世界のライオンズクラブを援助することである。」との声明を掲げ、その交付金を通じて、これまで世界中の恵まれない人々の視力を守り、ライオンズクエストなどによる青少年の育成、また災害発生時の救援活動、さらにはしかや糖尿病など世界の健康問題、障害者の生活など幅広い人道奉仕活動に尽力してきています。

日本のライオンズクラブも地域奉仕から世界奉仕への意識改革が進み、1990年代半ばには、日本のライオンズクラブの献金額が、国内の好景気もあって、LCIF献金総額の6割を占めるほどになったと言われています。

現在、ライオンズクラブ国際協会創立100周年、LCIF創設50周年を記念する献金キャンペーンが2012年7月から2015年6月を前期、2015年7月から2018年6月を後期として行われています。

後期の目標として、①20ドル以上（50ドル、100ドル）の全員献金（クラブ会員100%）を目指す。②MJF（1,000ドル）献金の前期比5%アップ達成を目指す。③バースデーMJFキャンペーン（周年記念事業、会員の誕生日記念、事業所の創業記念等々）。それに新しく④「感謝のMJF」の普及（例えばクラブの会長、功労者、地区役員、貢献著しい会員等々に感謝を込めてMJFを贈る」が加えられています。

現在の世界情勢は、人類の滅亡に結びつく核開発や、テロの発生、地域紛争に伴う大量難民の発生等、混沌として揺れ動いています。

「戦争が人の心の中から始まるものであるから、平和を守る砦も人の心の中に築かれなければならない。」とは、ユネスコ憲章の前文にあることばです。

私たちライオンズクラブの会員は平和を守る立場に立ち、人類の福祉を目的として設立されたLCIFに深い理解を抱き、これを大切にしていかなければならないと思います。





・・・ LCIFセミナー ・・・

2016年1月30日(土) 於 三翠園

地区誌編集委員 山崎 宏子

2015～2016年度ライオンズクラブ国際協会336-A地区LCIFセミナーが三翠園に於いて、157名の会員参加のもと開催されました。

研修講師は渋谷繁晴LCIF国際委員・エリアコーディネーター(西日本エリア担当337-A地区所属)。沢山の資料に基づく説得力のある語り口は、自らのキャリア奉仕経験から発せられる言葉でした。

また、三谷智省LCIF336-A地区コーディネーターから『LCIF創立50周年記念キャンペーン献金の推進について』の話があり、その要請もありました。

高知桜LCでは1999年に結成五周年記念事業としてLCIF援助交付金申請を行いました。ポータブル電動角膜切除機「マイクロケラトロン一式」を高知医科大学に寄贈する目的でした。これは336複合地区ではLCIF一般交付金を単一クラブが申請した初めての例でした。申請にあたっては松崎敦子初代会長の知恵・能力・熱意に加え、それをサポートする会員たちとの並々ならぬ努力の賜物でした。膨大な申請資料に関わらず、よくぞ交付決定迄こぎつけたと当事者から伺い、頭の下がる思いでした。



拝見します! クラブ会報

各クラブからPR・ライオンズ情報・大会参加委員会に
送って頂いた会報の中から、
地区誌編集委員会の独断で、紹介させて頂きました。

1R-3Z 松山白鷺LC

[illegible]

2R-2Z 今治LC

2014.7



2015.6

Liberty, Intelligence,
Our Nation's Safety

(国際ライオンズクラブ連合会)

WE SERVE

(国際ライオンズクラブ連合会)

Strengthen the PRIDE 誇りを高める

新たな気持ちで We Serve

あふれる愛を 確の響きに乘せて ウィサーブ!

今治LC会長努力目標

- 例会 純出席率の向上推進
- 奉仕活動への参加と委員会の充実
- 「先輩に習う!」学習交流の機会を!



市役所前花時計の植え替え

日 時 4月17日(金) 15:00~
場 所 今治市役所前

今年度最後の花の植え替えを
今治ワークスと実施し、パチュ
ニア250本を植える事が出来ま
した。



4月第1例会 大山祇神社参拝例会

日 時 4月2日(日) 12:15~

場 所 大山祇神社本殿



平成27年4月2日(日)4月第1例
会として、大山祇神社参拝例会が
行われました。

当日は、午前10時に今治の地を
バス2台に分乗し出発しました。
大山祇の地に降りると、桜が満開
に咲き始め、天候もよく車中から
見る桜並木の景色は大変すばらし
いものでありました。

大山祇神社に到着し参拝のため境内に入ると、雄
偉の御門(御門200年の樹)が私達を迎えてく
れているようでした。また、拝殿にて3日野金銀を
代表として参加したメンバー全員でご挨拶していただ
きました。その後、歴史の館を見学することが出来
ました。

その後、場所を社務所に移動し、4月第1例会を
行いました。

副団長会長の挨拶では、大山祇の地で例会を開催
出来る感謝の気持ちと、ご挨拶をさせていただいたこ
ともあり新たな気持ちで例会として頑張りたいとの
ことでした。

また、大山祇神社 宮司 三島孝徳様からゲスト
卓話として、歴史を通しての今治市と大山祇神社と
の関わり方、例祭の日数等についてお話をいただ
きました。

最後になりますが、参加していただいたメンバ
ー皆さんに大変感謝すると共に、今後より一層の出席
をお願いいたします。



三島宮司の卓話



3R-3Z 宇和島LC

「世界ライオンズ奉仕デー」第40回清掃奉仕実施

宇和島LC会長 三村 大 道

秋の気配が一段と深まりを遂げる中、2015年10月8日(木)「世界ライオンズ奉仕デー」
の活動として宇和島委員会の指揮のもと、宇和島駅前及び御穂橋周辺、秀宗侯墓(龍華山
等寛寺)、竜眼墓(金剛山大蔵寺)の3ヶ所に分かれ清掃活動を行いました。午後2時
より約2時間ほどみんな汗だくになりながら社会奉仕に励むというライオンズの精神
のもと清掃し御穂の町をきれいにする活動に励み、見聞のよい活動になりました。大
きなごみ袋30枚がごみと御穂でいっぱいになりました。私は今年初めて参加させてい
たきましたが、秀宗侯墓の田舎となり宇和島に居住して初めて訪問し山の麓に静寂かつ
威厳を感じさせられる墓場を見て宇和島の400年間の歴史を想い、偉大な歴史ロマン
を感じてとても感動を受けました。宇和島ライオンズの活動を通じて地域の活性化や住
民が永久的に平和に暮らせる街作りにも貢献出来れば良いと思いを新たに致しま
した。世界ライオンズ奉仕デーのみならず日頃より全員がきれいな街作りを意識して
いただければ良いと感じました。皆様お忙しい中ライオンズ奉仕デーに参加いただき誠に
有難うございました。また今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

宇和島駅前 清掃活動

駅前広場には私たちの先
達が築いた「大和町歴史
碑」(10周年)と「龍牛の
像」(40周年)が観光客を
迎えてくれる。

「御穂橋」は富士がはる
明の霊山(龍眼墓)の
地を懐いてこの場所。



金剛山(龍眼墓)等

龍華山には初代藩主の墓か
2・3・4・6代藩主の墓が
ある。

本年は秀宗侯墓400周年
実施中。



金剛山(龍眼墓)等

金剛山の竜眼墓(秀宗
侯墓) 御穂橋の横断は
生簾戸で暮らし、宇和島
行きの旅を望んだと伝えら
れる。



4R-3Z 長尾LC

336-A地区ガバナー 橋本克好・スローガン「感動」「感動」「感動」の気持ち、心で We Serve
ガバナーキーワード 「人魂」

世界ライオンズ奉仕デー
太陽が昇るにつれて汗ばむ陽気の二
姉妹提携クラブ記念碑周辺の清掃奉仕活動

[illegible]

2013年11月10日



ホムペ http://www.nagaole.jp/

(92)

長尾ライオンズクラブ主催
平成27年度第1回献血活動



も金次第で言えるぬ　な　の　受　初　て　け　て　べ　き　マ　な　ぬ　　順



1000



それ以外は、いざとは一し刀もさ



奥尾LC会員 森川雅生 スローガン「ほろのある 心一つで We Serve」 キーワード「笑顔」

< 12 >

5R-2Z 観音寺LC

KAN-ON-JI-LIONS

ライオンズカップバレーボール大会

ライオンズカップバレーボール大会を終えて

三豊市立豊中中学校女子バレーボール部顧問 誠 公一

三笠市・網走市の各中学校においてバレーボールを通しての中学校の心身を鍛えるために、毎年このような貴重な大会の機会を年々増やしていただき、網走市ライオンズクラブの皆様に深く感謝いたします。

3年生による夏の総体を終え、2年生を中心とした新チームとなって約3ヶ月が過ぎようとしています。例年この大会は、12月の新人大会のシード校を決める大切な大会となっています。そのため、選手たちにも緊張感や意気込みが見られました。このような大会で優勝でき、役員たちも大きな自信を持つことができたように感じています。

新チームになって、改めて気持ちにしていることは、「自分たちが自分の力で、お互い切磋琢磨し合い、黒いベルの大会で、一つでも多く勝つ」ということです。ほんのどの部員が、ジュニアからバレーボールを始め、自分たちではできる」という実な思い込みを持っているように思いますが、まだまだ昔後の練習の中では、自分たちがやる練習というよりは、監督から指示でやらされる練習の多いと感じています。しかしながら、このような大会の中で、他のチームから尊敬され、憧れられるようなチームに成長できるよう努力し続けていきたいと思います。

最後になりましたが、今後ともバレーボールを通した中学校の健全な心身の育成にご尽力を賜われますようお願い申し上げます。ありがとうございました。



KAN-ONJI-LIONS

ライオンズカップから得たもの

三豊市立豊中中学校バレーボール部主将 近藤 優衣

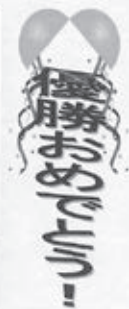
私たち豊中中学校バレーボール部は、みんなで力を合わせ、持っている力すべてを注いで努力し、力の限り戦うという「力戦覚悟」を合言葉に、日々練習に励んでいます。

ライオンズカップ当日、私たちは、どんな相手でも怖れず果敢と戦って、無駄な失点を与えない
 ということを意識して、試合に臨みました。すると、今までの試合よりも失点が少なく、一回合、
 二試合と勝ち進むことができました。

決闘では、ジュニアバレーボールクラブのここからの一番のライバルである三野雄中学校でした。1セット目、点を取っては取られての接戦になりましたが、どんな時でも笑顔を忘れず、決めた時には、みんなで喜び、団団気をよくしたことで、なんとか勝つことができました。

2セット目、持っている力を出せず、苦戦し、21対11と10点差も開かれてしまいました。しかし、どんなに点差が開こうと、私たちはあきらめることなく、「まだいける。」「このセットとるよ。」という励ましの言葉を全員でかけ合い、一生懸命につないだ結果、まさかの大逆転。

この試合から、どんなに負けていようと、あきらめないということが、どれだけ大事かということ、改めて考えさせられました。どんな相手にも、全力を尽くしてプレーし、自分たちの納得のいくプレーをしたいです。これからの試合に向けて、部活動の時間を無駄にせず、練習に頑張っていきたいと思います。



1

8R-2Z 上板LC

《アクティビティ》

◇ 出前授業（学校訪問）おもちゃ作り指導

5月29日 神宅小学校1年生17名
目比生し・三宅（男）・西木し・
板東し・切原し・森村し
コマ（厚紙）作り



6月4日 神宅小学校2年生32名
目比生し・西木し・板東し・森村し
折り紙・七夕飾り

◇ フラワーロード・マリーゴールドの定植

平成23年6月6日（日）実施。終了後にゴミゼロ運動実施



— 8 —



◇ 献 血 平成27年6月9日（祝）9:30～12:30



上板町役場で実施。
献血にご協 力いただいた方に
上板LCよりタマ ゴ1パックをプ
レゼント。



— 9 —

9R-1Z 鳴門LC

国際会長 山田 實純

Dignity.Harmony.Humanity
「命の尊厳と和」



10月4日 ライオンズ奉仕デー「ライオンズの森楽園」集合写真



「慣れた手つきで秋を渡る石井ライオン」



「道路わきの雑草を刈る吉村会長」



「草刈り機は必須です」



「今回も皆が力を合わせてきれいになりました」

(2)

336-A地区スローガン 橋本 充良

「感謝」「感動」「感激」の気持ち、心で We Serve
キーワード「入魂」



8月10日「阿波踊り例会」於：鳴門市道舞場



「ダメ、絶対！キャンペーン」



「鳴門ライオンズ連を先導する吉村会長」



「元気いっぱいに踊ります」



10月23日「鳴門市役所にて」



「皆様の御理解と御協力が
あつてのことです」



「ご協力ありがとうございました」



「献血中も笑顔の吉村会長 スゴイ！」

(3)



薬物乱用防止教育 認定講師養成講座

336-A地区 環境保全・保健福祉・アラート委員会
担当副幹事 西澤 窈子
(高知桜ライオンズクラブ)

ライオンズクラブと(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター主催の「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」制度が330-A地区で誕生してから12年後、故武久一郎国際理事が336-A地区ガバナー(2009～2010)を務められた年度から、四国四県で養成講座が開催されています。当時は脱法ドラッグ・覚せい剤など、薬物事件の報道だけで、身体への害まで報道することはなく、この養成講座で多くのメンバーが薬物による心身への影響を知ることができたのです。

今期で7回目を迎えましたがその間、脱法ドラッグが危険ドラッグに改名され、直近では野球少年の希望の星であった、かつての花形選手が覚せい剤使用で逮捕されるなど薬物事犯が多発しています。

認定講師の資格をもったメンバーが所属するクラブが、近隣の小・中学校で「薬物乱用防止教室」に取り組み、薬物乱用の未然防止を図る活動ですが、教室実施(2014.7～2015.6)アンケートによると、336-Aでは148クラブ中25クラブが48教室を実施、取り組んでいないクラブからは「一度講座を受けただけでは子ども達に伝えるのは難しい」「スキルが足りない」「どのようにしたら良いのか分からない」等の回答がありました。

薬物乱用が低年齢化している状況下で、青少年に対し、大人が伝えるべきこと。それは、彼らが担う社会に薬物乱用がいかに非理性的な愚かなことかを自らの課題として認識することだと考えます。”

薬物乱用防止教室開催のためには、他クラブが取り組んでいる教室の見学から始め、クラブ、ゾーン、リジョンをこえて、実践事例や情報の共有化を図り、講師の育成を進めていくことや、継続して実施しているクラブが、具体的な取り組み方を示して地域での広がりを目指すことだと考えます。実施している複数クラブから、最新の教材や教案を提供いただけるとのことで、多くのクラブによる取り組みが期待できるようになりました。この活動では、授業を受けた児童は必ず保護者に話しますので、地域ぐるみで子ども達を守る体制が構築されるとともに、ライオンズクラブの活動も児童生徒を介して家庭に伝播され、地域にライオンズクラブを理解、認識してもらおう絶好の機会となり、会員増強にもつながると期待できるのではと思わずにはいられません。

末筆になりましたが、この活動を支えて指導いただいた(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター専務理事阿部俊三様が昨年10月急逝されました。ライオン誌2月号の獅子吼に追悼文が掲載されていますことをお知らせし、ご冥福をお祈りいたします。



今年4月に満96歳を迎える
元気もりもりの、メンバーです。
写真は、1月の6R1Z
台同例会で行われた
箸拳大会のワンカットです。

高知北LC 岩川 康夫さん

大正生まれ
ますます盛ん

336-A地区会員現況

(2015年7月1日～2016年2月末)

R	Z	クラブ名	期首	前月末	入会	退会	当月末	家族 会員	
1	1	松山ホスト	31	37	0	0	37	0	
		久万	21	20	0	0	20	0	
		松山東	51	53	0	1	52	0	
		砥部	49	51	3	1	53	14	
		松山つばき	53	59	0	0	59	22	
		松山城山	38	38	0	0	38	0	
	2	3	松山道後	56	55	0	0	55	0
			伊予	48	49	0	1	48	0
			松山西	75	74	0	0	74	25
			松前	20	23	0	0	23	0
			松山北	41	36	0	1	35	0
			松山湯築	65	64	0	0	64	28
		3	松山城東	22	22	1	0	23	0
			北条	17	17	0	0	17	0
			松山中央	112	115	2	3	114	1
			松山南	37	38	0	0	38	0
			東温	30	30	0	2	28	9
			松山金亀	47	46	0	1	45	6
		松山白鷺	68	75	0	0	75	5	
		R 小計		881	902	6	10	898	110
		2	1	新居浜	53	59	0	0	59
新居浜中央	34			37	0	0	37	9	
新居浜別子	35			33	0	0	33	5	
新居浜ひうち	32			34	0	0	34	1	
2	今治		71	75	0	0	75	15	
	今治中央		58	58	0	0	58	6	
	今治東		55	54	0	1	53	2	
	今治くるしま		48	45	0	0	45	0	
3	伊予三島		37	40	0	0	40	0	
	川之江		63	61	0	0	61	15	
	伊予土居		67	69	0	0	69	34	
	四国中央法皇		39	39	0	1	38	1	
4	川之江中央		28	41	0	0	41	14	
	西条		61	70	0	0	70	21	
	東予		33	32	1	1	32	0	
	伊予小松		12	11	0	0	11	0	
西条石鎧	64	63	0	0	63	27			
R 小計		790	821	1	3	819	153		
3	1	大洲	46	45	0	0	45	0	
		宇和	47	50	2	1	51	6	
		伊予長浜	13	13	1	0	14	0	
		内子	50	54	0	2	52	17	
		野村	21	21	0	0	21	2	
	2	八幡浜	41	40	0	0	40	0	
		三瓶	17	17	0	0	17	2	
		伊方	40	40	0	1	39	3	
		保内	37	36	0	0	36	10	
		八幡浜みなと	40	42	0	1	41	0	
	3	宇和島	29	37	0	0	37	3	
		伊予吉田	28	29	0	0	29	0	
		南宇和	38	36	2	0	38	2	
		鬼北	36	38	1	1	38	10	
R 小計		483	498	6	6	498	55		

R	Z	クラブ名	期首	前月末	入会	退会	当月末	家族 会員	
4	1	高松	41	42	0	0	42	0	
		小豆島	43	45	0	0	45	8	
		小豆島東	32	31	0	0	31	0	
		高松葵	25	24	0	1	23	0	
		高松南	19	18	0	0	18	1	
	2	高松東	34	44	0	0	44	16	
		高松西	40	41	0	0	41	6	
		直島	27	28	0	0	28	0	
		八栗	48	50	0	0	50	22	
		高松源平	35	36	0	1	35	7	
	3	高松中央	48	56	0	0	56	28	
		東かがわ	49	50	0	0	50	12	
		長尾	81	82	0	0	82	30	
		志度	77	73	0	0	73	27	
		三木さぬき	48	52	0	0	52	21	
	4	高松グリーン	20	20	0	0	20	0	
		高松玉藻	53	57	0	0	57	19	
		高松栗林	96	95	0	0	95	46	
		高松屋島	72	79	1	1	79	24	
		高松紫雲	71	69	0	0	69	21	
5	高松空港	44	44	0	0	44	11		
	高松北	36	39	0	0	39	9		
	R 小計		1,039	1,075	1	3	1,073	308	
	5	1	丸亀	114	121	2	0	123	34
			坂出	59	61	0	1	60	15
坂出白峰			113	137	0	0	137	80	
綾歌郡			19	20	0	0	20	7	
丸亀京極			71	83	0	0	83	26	
うたづ			50	46	4	1	49	11	
2		坂出シニア	55	53	0	1	52	20	
		観音寺	43	43	0	0	43	13	
		善通寺	44	44	0	0	44	7	
		多度津	63	63	1	0	64	22	
		三豊	50	49	1	0	50	0	
		こんびら	67	66	11	0	77	37	
R 小計		789	829	19	3	845	289		
6	1	高知	51	53	0	0	53	13	
		高知柏	57	77	0	1	76	24	
		高知東	74	74	0	0	74	36	
		高知北	47	48	0	0	48	17	
		高知桜	57	60	0	0	60	25	
		高知とさみずき	15	15	4	0	19	8	
	2	須崎	38	38	0	0	38	0	
		土佐	49	48	1	1	48	0	
		伊野	25	26	0	0	26	4	
		佐川越知	27	26	0	0	26	5	
		中土佐	27	28	0	0	28	3	
	3	四万十	50	54	1	0	55	7	
		土佐清水	49	50	0	1	49	5	
		宿毛	23	25	0	0	25	0	
		窪川	15	14	0	0	14	0	
		大方	27	27	0	0	27	5	
	R 小計		651	686	6	3	689	155	

R	Z	クラブ名	期首	前月末	入会	退会	当月末	家族 会員
7	1	高知鷹城	52	57	0	0	57	9
		室戸	29	32	0	0	32	5
		高知鏡川	38	39	0	0	39	3
		高知南	35	35	1	0	36	0
		高知よさこい	47	52	0	0	52	14
	2	土佐国府	20	18	0	0	18	0
		高知黒潮	57	66	0	1	65	0
		高知桂	52	50	0	0	50	3
		高知中央	50	54	0	0	54	19
		高知安芸	33	36	0	0	36	4
	3	高知りょうま	45	61	0	0	61	25
		土佐山田	14	14	0	0	14	1
		土佐本山	25	28	0	0	28	8
		南国	26	29	0	0	29	4
		土佐香南	29	45	1	0	46	13
	大豊	5	5	0	0	5	0	
R 小計			557	624	2	1	622	108
8	1	徳島	22	30	0	0	30	8
		小松島	22	29	0	0	29	10
		阿南	44	44	0	1	43	9
		徳島南	24	21	0	0	21	0
		阿波勝浦	23	24	0	0	24	0
		徳島マリニピア	44	46	0	0	46	0
		徳島すだち	82	82	2	0	84	0
	2	徳島シニア	13	11	0	0	11	0
		徳島中央	30	30	4	2	32	9
		石井	47	41	2	1	42	22
		徳島城山	51	53	0	0	53	18
		上板	37	38	0	0	38	0
		徳島吉野川	36	36	0	0	36	0
		土成	30	31	2	0	33	0
		徳島やまもも	23	23	0	0	23	1
R 小計			528	539	10	4	545	77
9	1	徳島眉山	28	33	0	1	32	0
		鳴門	44	45	0	0	45	9
		藍住	36	37	0	0	37	7
		板野	65	61	0	0	61	26
		松茂徳島空港	20	15	0	0	15	0
		鳴門西	30	30	0	0	30	0
		北島	47	45	0	0	45	0
	2	阿波池田	30	29	1	1	29	0
		脇	38	41	0	0	41	1
		三加茂	18	18	0	0	18	0
	3	徳島西	20	17	1	0	18	10
		鴨島	24	34	0	0	34	10
		阿波	24	29	0	0	29	0
		神山	19	23	2	0	25	3
		徳島藍	30	36	0	0	36	6
R 小計			473	493	4	2	495	72
336-A			会員異動					
R	Z	クラブ名	期首	前月末	入会	退会	当月末	家族 会員数
合計			6,191	6,464	55	35	6,484	1,327

物故会員

3月8日現在でご確認できた方を掲載しています。



①梅舎 優治(51歳)
②5R-1Zうたづ
③2004年4月
④2015年11月24日



①田中 孝男(90歳)
②1R-3Z北条
③1962年5月7日
④2015年11月23日



①香川 知範(72歳)
②5R-2Z多度津
③1984年10月1日
④2015年11月11日



①市原 滝夫(66歳)
②6R-2Z土佐
③2000年3月15日
④2015年11月6日



①大黒 勲(88歳)
②6R-1Z高知柏
③1985年3月12日
④2016年1月29日



①荒瀬 孝之(80歳)
②8R-1Z阿南
③1966年10月1日
④2016年1月5日



①長崎 収夫(83歳)
②7R-2Z高知桂
③2009年9月4日
④2015年12月14日



①丸谷 武夫(81歳)
②8R-1Z徳島シニア
③2010年2月1日
④2015年11月29日



①藤原愛一郎(56歳)
②5R-1Z坂出
③2007年5月
④2016年2月12日



①川添 潔明(83歳)
②1R-3Z松山中央
③1980年10月
④2016年2月10日



①宮内 保志(68歳)
②1R-3Z東温
③1993年2月24日
④2016年2月4日



①盛重 二郎(75歳)
②1R-3Z松山中央
③1983年3月
④2016年1月30日



①伊藤 忠幸(69歳)
②2R-1Z新居浜別子
③1989年2月1日
④2016年3月8日

慎んでお悔やみ申し上げます
①氏名・享年 ②LC名 ③入会年月日 ④没年月日

(2015年11月6日～3月8日)



突撃インタビュー

― 福家地区年次大会
委員長編 ―

地区年次大会が、目前にせまり
ました一言

予備登録の段階では、予定する登録人数に届かず、苦慮していましたが、RC始め地区役員や皆様方のご尽力のお陰で予定登録数に迫っております。ありがとうございます。

あと、記念講演にも一層の登録をおまちしています。

皆様の心に残る大会にすべく頑張っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

おかげさまで第3号発行の運びとなりました。今号では地区誌編集委員の三委員にお任せした紙面があります。前号でも委員の方に原稿を書いていただきましたので、編集委員会全員参加型の紙面づくりができたと思っています。

残すところあと1号となります。橋本地区ガバナーの地区運営の一助になるよう努めていきます。

(地区誌編集委員長 酒井陽典)



【第62回】ライオンズクラブ国際協会336-A地区

地区年次大会記念 トークライブ

テーマ

地域の個性は宝物

入場無料

入場には整理券が必要です

2016年4月16日 土

開場 13:30 開演 14:00～15:30

高知県立県民文化ホール(グリーン)

〒780-0870 高知県高知市本町4丁目3-30



©Ittetsu Matsuoka

安藤 桃子さん

ANDO MOMOKO

高校時代よりイギリスに留学、ロンドン大学芸術学部を次席で卒業。その後ニューヨークで映画作りを学び、監督助手として働く。2013年自ら監督、脚本を務め『0.5ミリ』を映画化する。翌年高知に移住。2014年10月高知市城西公園内「0.5ミリ」特設劇場を作り全国に先駆け上映、ロングランを記録。



黒笹 慈幾さん

KUROSASA YASUSHI

アウトドア雑誌「BE-PAL」の元編集長。出版社を定年退職後の2012年3月、趣味の釣りが存分に楽しめる高知に家族で移住。人気コミック「釣りバカ日誌」の初代編集担当者だったことから、主人公・浜崎伝助のモデルとの噂がある。

●コーディネーター 竹内 一 (高知新聞社)

第62回地区年次大会記念講演は、地区に根づいたライオンズ活動の一環として、ライオンズクラブ家族会員及び、一般の皆様において頂くことを主体に考え、企画いたしました。多数のご来場をお待ち申し上げます。

●ご来場者には高知家バッチを進呈いたします(お1人様1個)●

お申し込み方法

●入場には整理券が必要です

【ライオンズクラブ家族会員の方】

各所属ライオンズクラブまで、お申し込みください。
後日入場整理券をクラブまでお送りします。

【一般の方】

往復ハガキにて下記までお申込みください。▶▶▶▶▶

往復ハガキ

返信ハガキ文面

返信ハガキ

往復ハガキ文面

7800862
高知県高知市
鷹匠町1-3-35
三翠園13F
ライオンズクラブ
地区年次大会記念
トークライブ係行

記入しないで
ください

あなたの
郵便番号
ご住所
お名前

- ①記念トークライブ
- ②あなたのご住所
- ③あなたのお名前
- ④性別
- ⑤電話番号

応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。当選された方に整理券引換券を返送します。当日会場にお持ちの上、入場整理券とお引き換えください。



2015～2016年
ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 高知キャビネット事務局

We Serve

〒780-0862
高知県高知市鷹匠町1-3-35 三翠園13F
TEL 088-823-5552 FAX 088-823-5518
E-mail kochicab@bird.ocn.ne.jp